



この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2022年2月20日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部



若者の政治参加 能條桃子さんに聞く

20日(日) = 1、3面

池上彰さんが今回対談したのは「NO YOUTH NO JAPAN」代表理事の能條桃子（のうじょう・ももこ）さん＝写真右＝です。Instagram（写真共有アプリ）を通じて、若者に政治への参加を促す活

動を続けています。能條さんがデンマークに留学した時に見たのは、若者たちが日常的に政治を話題にする姿でした。「次の選挙ではあの政党に投票しよう」といった会話を誰もがしていました。

一方、能條さんが日本の友人らに政治や選挙について語ると「意識が高いね」などとかかわれるそうです。両国の違いは何か？ また、若者の政治参加を増やす方策はあるのでしょうか。

特集 **ワイド**

檀ふみさんと石神井公園

21日(月) = 夕刊特集ワイド

オミクロン禍に振り回される日々が続きますが、俳優・檀ふみさん＝写真＝が熱中しているのが「花日記」です。日々の天候や庭の草木の成長をイラスト付きでつづっています。檀さんは、エッセイ

トとしてもよく知られている人で、「コロナ禍で、小さな世界に心を寄せるようになった」と話しています。東京・石神井生まれ、石神井育ちの檀さんと地元・石神井公園を散策しました。



フランスの再処理工場の貯蔵用プールに沈められた使用済み核燃料



北京五輪は何を残したか

21日(月) = 1面など

17日間の熱戦を展開した北京オリンピックが20日、閉幕します。日本選手団は2018年平昌五輪の13個を超えて冬季五輪過去最多のメダルを獲得しました。ノルディックスキー・ジャンプ男子個人ノー

マルヒルの小林陵侑選手、スノーボード男子ハーフパイプの平野歩夢選手、スピードスケート女子1000mの高木美帆選手が金メダルを獲得しました（17日現在）。感動的なシーンが繰り広げられた一

方で、ドーピング問題や、スキージャンプのスーツの規定を巡る混乱など五輪の抱える課題も浮き彫りとなりました。北京五輪は何を残したのか。大会を総括します。

論点 原発はグリーンか

25日(金) オピニオン面

欧州連合（EU）の行政執行機関にあたる欧州委員会が発した投資先「のリストに加える提案を（CO2）を発電時に排出し

まず、3人の専門家の論考を紹介し

ないという理由ですが、処分先が決まらない核のごみ問題などを抱える原発は本当にグリーンと言えるのでしょうか。

新毎日

150
2022年2月21日
毎日新聞創刊150年

毎日新聞は2月21日、創刊150年を迎えます。これを記念したイベント「Mainicove」を開催中ですが、インターネット上で無料で視聴でき、自宅に購読者無料サービス「お問合わせ」を追加したい方は、毎日新聞の「再発見」ページをご覧ください。



※都合によっては掲載日や内容を変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。